

尾原ダムでインフラツアーを実施しました

公募した旅行会社と連携し、観光ツアーにインフラ施設見学を含めた『インフラツアー』が平成26年2月3日、中国地方整備局管内で初めて、尾原ダムなどで行われました。尾原ダム見学、出雲大社参拝を含むツアーで、東京都など6都府県から50人が参加しました。

尾原ダムでは、出雲河川事務所尾原ダム管理支所の職員が、ダムの役割、最先端の技術や建設時の苦労話等の説明を行いました。また、施設見学では、参加者に、普段は公開していない「(傾斜が)45度の監査廊」を降りてもらい、水量を調整するダム本体内部の「洪水調節用ゲート室」を初公開しました。参加者の方が、見て・聞いて・感じて、楽しんで頂けるよう、工夫しました。

今回のツアーは、尾原ダム建設工事に携わった方々やその家族を対象としたもので、神戸市から参加された家族4人を含め、親子、夫婦での参加も多数ありました。実際にダムが完成してから初めて訪れた方がほとんどで、建設当時は懐かしく思い出されていました。

出雲河川事務所では、今後も様々なダムの広報手法の改善を図り、一般の方々などへ尾原ダムの役割と魅力を理解して頂くように取り組んでいく予定です。



連続サイフォン式取水設備の説明を聞く参加者



ダム内部の見学



インフラツアーの様子

ツアーの感想

- ・新しい知識・経験を得ることができました
- ・今まで見学した事のない所が見学できた

参加者の声



兵庫県神戸市灘区
神藤拓也さん(41)
有里子さん(41)
綾花さん(9)
佑輔くん(9)

「尾原ダムの放流設備の設計に携わりました。それをぜひ家族に見せたいと思い、4人で参加しました。外からは見られない設備なので、内部を見学できる機会がありました。しっかりと備え付けられているのを確認し、感慨深かったです。これからも、こういった機会をつくってほしいです」(拓也さん)



広島県福山市
青山晋一さん(46)
ゆりえさん(16)

「2006年11月から10年7月まで、尾原ダム建設の現場責任者を務めました。工期自体が短く、厳しいものだったので、見学をして、苦労がよみがえりました。娘(ゆりえさん)は、ダムの完成前に一度連れてきたことがあります。できあがったところを見せたいと思っていました。こういう機会がありがたいです」(晋一さん)

大橋川コミュニティセンター

【休館日】土日祝祭日・年末年始 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】なし
〒690-0887 松江市殿町383番地 山陰中央ビル1階
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623

E-mail : info@comisen.jp

ホームページ : <http://www.comisen.jp/>

大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。



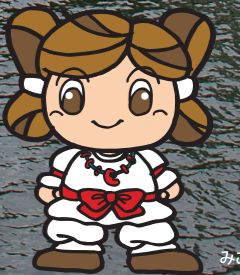
大橋川で実施された水上遊覧の社会実験(平成25年10月)



2014.3
Vol.44

刊行 / 大橋川コミュニティセンター

大橋川や水辺周辺の環境を生かしたまちづくりに向け検討が進んでいます。



みことくん

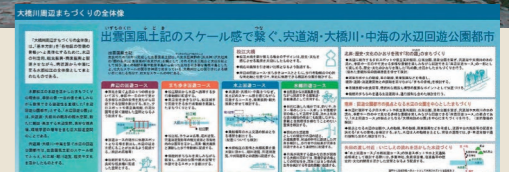
大橋川通信

大橋川改修情報紙

大橋川の利活用について

大橋川周辺まちづくり基本計画(平成21年3月策定)では、大橋川改修とあわせて「治水と環境とまちづくりの調和を目指す」とし、水辺・水面の利活用について提案されています。

現在、この利活用の具現化を図るために、社会実験や、ワークショップなどとおして、市民のみなさんと利活用の方法を検討しているところです。



「大橋川周辺まちづくり基本計画」の具体化に向けて取り組み開始

http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/03_iinkai/03_iinkai_03_02.html

社会実験



オープンカフェ(平成25年10月)



ウォーキング(平成25年11月)

全国水都ネットワークフォーラム in松江開催(平成26年2月)

水都と呼ばれる全国10都市や市民ら84名が参加し、水辺の利活用策などについて意見交換しました。



カヌーツーリング(平成26年2月)

ワークショップ(平成26年10月)



みなさんの利活用アイデアをスケッチ

